

岩手県

JAいわて中央 水稲モデル生産者

販売

コスト

新品種作付け等による販売強化や コスト低減提案で、**所得31%アップ**



JAいわて中央（盛岡市、矢巾町、紫波町）では、**販売拡大**に向けた専任部署の新設等による**販売強化**や岩手県オリジナル品種への作付け転換、**コスト低減**に向けた全農との連携など、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、水稲モデル生産者1戸当たりの所得は、2018年度には636万円となり、2015年度に比べ152万円、**31.3%の増加を実現**しました。

【JAの具体的取り組みと成果】

販売拡大に向けては、2016年度から専任部署の販売対策課を新設し、取引先との連携強化、新規市場開拓による販売強化に取り組んだほか、**岩手県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」への作付け転換、直接販売の強化**に取り組みました。

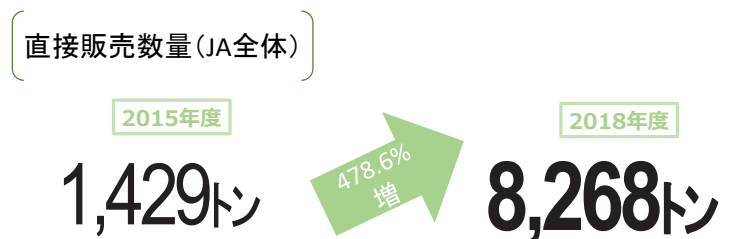
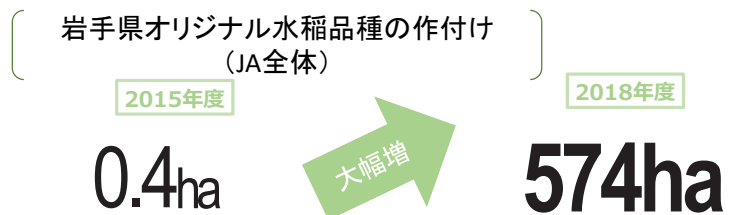
その結果、オリジナル水稲品種の作付けは、2015年度は0.4haでしたが、2018年度には574haとなり、直接販売数量は、2015年度は1,429トンでしたが、2018年度には8,268トンへと増加しています

コスト低減に向けては、2016年度から全農と連携したモデル生産者に対する資材コスト低減や**省力化技術、生産性の向上に向けた実践メニューを提案**しました。

- 大型規格農薬の普及
- 土壌診断や生産者ニーズに即したBB肥料の開発
- 生産者ニーズに即した栽培技術の普及
- 土壌診断に基づく適正施肥による肥料代削減 等

その結果、対象農家の平均農業経費は、2015年度は1,979万円でしたが、2018年度には1,907万円となり、3.6%低減しました。

これらの取り組みにより、2015年度から2018年度にかけて、対象農家**1戸当たり31.3%の所得増大を実現**しました。



(生産者の圃場現地視察)

